

【対象：第3学年】 【実施日：R6.4.18】

〈国語科について〉

1 定着が十分だった内容

- 資料と会話を比べて情報を得たり、説明しているものを選んだりすることはできている。また、短歌の内容を、描写をもとに捉える問題は、全国平均正答率を約10%上回っていた。
- その原因は、短歌や俳句の単元において、描写をもとに歌や句を鑑賞したり、創作したりしてきたことが活かされているからだと考えられる。

2 定着が不十分だった内容

- 要約したり、自分の考えを書いたりする問題は、全国平均正答率を約15～20%下回っていた。
- その原因は、苦手意識が強く、自分の意見を伝えることが難しい生徒が多いことが考えられる。

3 今後の具体的な改善策

- 文章の中から要点を要約する機会を作り、どのような観点でまとめればよいのかがわかるような授業実践を行う。
- 帰りの学活等でスピーチをする機会を設けるなど、自分の考えを相手にわかりやすく伝える場面を多く設定していく。

〈数学科について〉

1 定着が十分だった内容

- 文字式に関して、よく理解できている。
- 語句の意味を理解する力がついてきたことや、語句の意味を適切に活用できていることが、原因であると思われる。

2 定着が不十分だった内容

- 関数に関して、式・グラフ・表とのつながりの理解が十分でない。
- 箱ひげ図に整理したものを読み取ることや、図形の証明の理解が十分でない。
- 反復練習が少ないことや、関数の本質をりかいできていないことが原因である。

3 今後の具体的な改善策

- 関数分野において、効果的にICTを活用し、式・グラフ・表とのつながりを理解させる。
- 図形分野において、性質の理解を深め、証明に活用できるように繰り返し演習を行う。

〈生徒質問紙について〉

1 肯定的な意見が全国平均を上回っていた項目

- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。」
- ・「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。」
- ・「ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。」
- ・「ICT機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる。」
- ・「ICT機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。」 など

2 肯定的な意見が全国平均を下回っていた項目

- ・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。」
- ・「1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。」
- ・「1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した。」
- ・「1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。」
- ・「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。」 など

☆具体的な方策

- 効果的な学習方法など、個に応じた具体的なアドバイスをする機会を設ける。
- ペア学習、グループ学習を取り入れ、話合う場面を場面を増やしたり、意見を発表する機会を増やす。
- 授業での発問を工夫し、さまざまな観点から広い思考ができるような授業展開を継続する。
- 読書活動を励行する。（読書週間の継続、図書室の利用改善）
- タブレットやICT機器を効果的に活用し、表現方法を工夫する。（可視化に努め、わかりやすさを追求する）
- タブレットの持ち帰り等をはじめ、生徒が主体的に家庭学習に取り組む方策を試行する。